

マイクロコントローラ技術情報

技術通知 V850E/SJ3-H, V850E/SK3-H 用 インサーキット・エミュレータ QB-V850ESX3H 使用制限事項の件		発行番号	ZBG-CD-09-0056号	1 / 2	
		発行日	2009年10月21日		
		発行部門	NEC エレクトロニクス株式会社 マイクロコンピュータ事業本部 汎用マイコンシステム事業部 開発ツールソリューショングループ 		
文書分類	○	使用制限事項	バージョンアップ	ドキュメント誤記訂正 (正誤表)	その他
関連資料	QB-V850ESX3H ユーザーズ・マニュアル (暫定)			資料番号: ZUD-CD-08-0190-1	

1. 対象製品

対象製品名	概要	管理記号 ^{注)}
QB-V850ESX3H	V850E/SJ3-H, V850E/SK3-H 用 インサーキット・エミュレータ	A, B

注) 管理記号は 10 桁の製造番号 (シリアル No.) の左から 2 桁目に表示されています。
 バージョンアップを行っている場合は、統合デバッガ ID850QB からバージョン表示ダイアログにてバージョン情報を確認してください。
 IECUBE **** X F/W: V.*.** の X が管理記号です。

2. 新たな制限事項

今回新たに No. 2 の使用制限事項を追加させていただきました。
 詳細は、別紙を参照してください。

3. 回避策

別紙を参照してください。

4. 改善計画

No. 2 について下記日程で改善することを計画しております。

管理記号Cの出荷開始日	2009年10月30日
出荷済み製品のバージョンアップ受付開始日	2009年10月30日

★本日程については予告無しに変更する場合がございますので、改善品のリリース日程については、別途、弊社営業、または特約店までお問い合わせください。

5. 制限事項一覧

添付の別紙をご参照ください。

6. 発行文書履歴

文書番号	発行日	記事
ZBG-CD-09-0016	2009.3.9	新規発行 新規制限事項追加(No.1)
ZBG-CD-09-0056	2009.10.21	新規制限事項追加(No.2)

QB-V850ESX3H 使用上の留意点

本文書は次に示す内容を記載しています。エミュレータの注意事項については、ユーザーズ・マニュアルにも掲載されておりますので、あわせてお読みください。

- 対象デバイスには該当せず、エミュレータのみが該当する制限事項
- 対象デバイスとエミュレータの両方が該当する制限事項で、エミュレータのみが修正予定のある制限事項

なお、対象デバイスの制限事項については、次に示す文書に記載されておりますので、こちらもあわせてお読みください。

- 対象デバイスのユーザーズ・マニュアル
- 対象デバイスの制限事項文書

1. 製品バージョン

エミュレータは、製品バージョンを管理記号で示しています。管理記号とは、10桁の製造番号(シリアルNo.)の左から2桁目に表示される記号のことです。バージョンアップを行っている場合は、統合デバッガ ID850QB の動作時に[ヘルプ]→[バージョン情報]で管理記号を確認してください。下図の IECUBE **** X F/W: V**.* の X が管理記号です。

図1 管理記号の確認(IECUBE のシール)

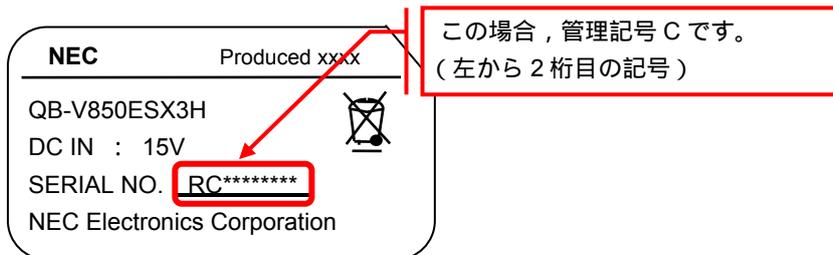
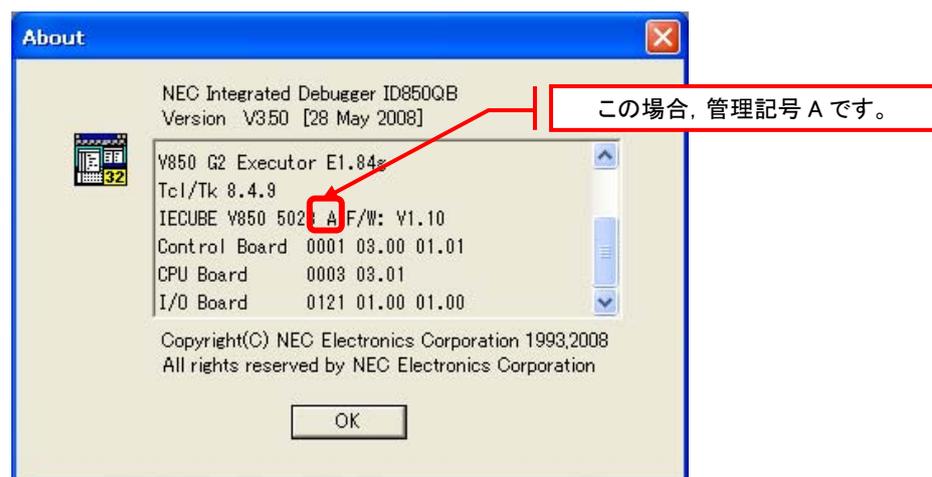
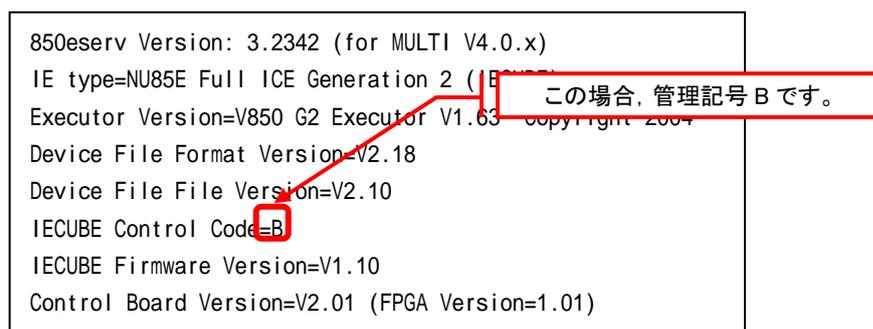


図2 管理記号の確認(ID850QB)



Green Hills Software(GHS)社製デバッガの MULTI®をご使用の場合は、850eserv の version コマンドで確認します。IECUBE Control Code=X の X が管理記号になります。

図3 管理記号の確認(MULTI)



MULTI は米国 Green Hills Software, Inc.の米国における登録商標です。

2. 製品履歴

No.	仕様変更・追加／制限事項	管理記号		
		A	B	C
1	0x100000番地以降の内蔵ROM, 拡張内蔵RAMアクセス時の制限事項	×	○	○
2	外部バス制御機能で, メモリマップ2使用時の制限事項	×	×	○

× : 該当する ○ : 該当しない

3. 制限事項および仕様追加事項詳細

No.1 0x100000 番地以降の内蔵 ROM, 拡張内蔵 RAM アクセス時の制限事項

【内容】 CPU 動作周波数が 32MHz より速く, 外部バス・インターフェースにマルチプレクス・バス・モードを使用している場合, 下記(1), (2)の空間をアクセスするためには, 対象デバイスの仕様よりも 1 つ多くのデータ・ウエイトが必要になります。

(1)0x100000-0x17FFFF の内蔵 ROM 空間

(2)拡張内蔵 RAM 空間

【回避策】 申し訳ありませんが, 回避策はありません。(1), (2)の空間へアクセスするためには, 以下のようにデータ・ウエイトを1つ増やした設定にしてください。

(1) 0x100000-0x17FFFF の内蔵 ROM 空間

DWC0=xxx1H (x はプログラムでの任意の設定値)

(2)拡張内蔵 RAM

DWC1=1777H

【改善策】 管理記号 B で修正済みです。

No.2 外部バス制御機能で, メモリマップ 2 使用時の制限事項

【内容】 外部バス制御機能で, CSC0 レジスタにてメモリマップ 2 を選択時, CS3 領域に対して正常にアクセスすることができません。

【回避策】 申し訳ありませんが, 回避策はありません。

【改善策】 管理記号 C で修正予定です。